

【目的】先の発表に引き続き、漢薬“石蓮花”の含有成分を精査するとともに、得られた成分について糖尿病合併症である白内障や神経障害の発症原因のひとつと考えられているポリオール代謝経路の律速酵素であるアルドース還元酵素に対する阻害活性を検討した。

【方法・結果】“石蓮花”地上部のメタノール抽出エキスの酢酸エチルおよびブタノール移行部を精査した結果、新たに kaempferol をアグリコンとする 12 種の新規アシル化フラボノール配糖体(1—12)などを単離、構造決定した。また、得られた化合物のアルドース還元酵素阻害活性試験を実施した結果について、あわせて報告する。

